



新年あけましておめでとうございます。今年も引き続き、当院の感染症受診状況を発信してゆきます。少しでも予防に役立つ情報をお知らせ出来るよう努めて参ります。

【感染症だより】

～インフルエンザ流行について第2報～

昨年は例年より早くインフルエンザの流行期に突入しましたが、振り返ってみると12月は胃腸炎の方がはるかに優勢でした。引き続き胃腸炎にも注意しましょう。

今シーズン初期のインフルエンザの主流はA香港型です。38℃以上の発熱、関節痛、のどの痛み、咳などの症状がみられます。潜伏期間は1-2日ですが、発熱する前日から感染力があります。特に発熱した日から3日間が移りやすい期間ですが、解熱後、幼児では3日間、年長児では2日間は感染力が残っていますので、出席停止となっています。一度解熱しても、二峰性の発熱（再度熱が上がってくる）をすることがあります。体温を1日に3回程度測定するようにしましょう。

家族がインフルエンザに罹ってしまった場合、マスク着用、手洗いうがいを行うほかに、部屋の空気の入替えを1時間に1回程度行いましょう。また、室内を50-60%に加湿することも効果的です。

表：12月しみず小児科・内科クリニックで診断された流行性の感染症

	感染症	患者数
1	胃腸炎	200
2	インフルエンザA	22
3	肺炎（マイコプラズマ含む）	9
4	水ぼうそう	8
5	溶連菌	4
6	おたふくかぜ	4
7	突発性発疹	4
8	手足口病	2

文責： 清水マリ子

★インフルエンザではこんな症状に注意しましょう★

- 手足を突っ張る、がくがくする、目が上を向く、白目をむく、けいれんの症状がある
- ぼんやりして視線が合わない、呼びかけに答えない、眠ってばかりいるなど意識障害の症状がある
- 意味不明なことを言う、走り回るなど、いつもと違う異常な言動がある
- 顔色が悪い（土気色、青白い）唇が紫色をしている（チアノーゼ）
- 呼吸が速く（1分間に60回以上）息苦しそうにしている
- ゼーゼーする、肩で呼吸する、全身を使って呼吸をする呼吸困難症状がある
- 「呼吸が苦しい」「胸が痛い」と訴える
- 水分が摂れず、半日以上おしっこが出ていない
- 嘔吐や下痢が頻回にみられる
- 元気が無く、ぐったりしている

以上のような症状があるときは、もう一度受診しましょう（日本小児科学会より）

